

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦舞
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	6企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ あんえんたーていめんと 株式会社アンエンターテイメント	団体ウェブサイトURL	https://www.wa-league.com/
代表者職・氏名	代表取締役 高久照敏		
制作団体所在地	〒 104-0061	最寄り駅(バス停)	東銀座
	東京都中央区銀座7-13-6 サガミビル2階		
電話番号	050-3624-6767		
ふりがな 公演団体名	ほうがくえんそう・にほんぶようかしゅうだん そうてん 邦楽演奏・日本舞踊家集団 蒼天	団体ウェブサイトURL	https://www.facebook.com/profile.php?id=100068382875708
代表者職・氏名	日本舞踊家(蒼天代表) 藤間直三		
公演団体所在地	〒 104-0061	最寄り駅(バス停)	東銀座
	東京都中央区銀座7-13-6 サガミビル2階		
制作団体 設立年月	2002年10月		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 高久照敏 経理担当 宮田幸子	当団体の活動に賛同し、伝統芸能に携わる芸術家および関係者 構成員の過半数以上の認可により加入	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	高久照敏
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	宮田幸子
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	school.an.sai@gmail.com		

平成14年10月 東京都新宿区に有限会社マスウェルス設立。(資本金300万円)  
平成21年3日 株式会社アンエンターテイメントに名称変更

<p><b>制作団体沿革</b></p>	<p>日本の伝統芸能(歌舞伎、能楽、邦楽)などの国内振興および国際交流の推進に寄与することを目的として設立。世界70カ国136都市で数々の伝統芸能の公演をプロデュース。 日本の伝統文化・芸術の国内振興および国際交流に寄与することを目的として活動。</p> <p>国内の小・中・高校で日本の伝統芸能である能楽、狂言、和楽器等の公演・ワークショップを企画制作。</p>				
<p><b>学校等における公演実績</b></p>	<p>平成23年より学校等における公演実績多数。累計200公演以上</p> <p>(直近) 令和4～5年度 大蔵流子ども狂言「附子」「柿山伏」 「和太鼓グループ彩「楽しいが響きわたる芸術鑑賞会」 琉神「琉神ワークショップ掛川市・静岡市公演」 文化庁 令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業「文化芸術収益力強化事業」 全国20ヶ所(子供たちの伝統文化の体験事業等)</p> <p>公演団 令和元年より学校公演実績あり 【北海道】苫小牧市立北光小学校 【東京都】江戸川区立松本小学校、文京区立礪川小学校、文京区立誠之小学校、足立区西新井第一小学校、杉並区光塩女子学院、中央区立月島第三小学校、中央区立日本橋小学校、足立区西新井第一小学校、目黒区立緑ヶ丘小学校、中央区立中央小学校、国立音楽大学附属小学校、足立区立入谷中学校、葛飾区立一之台中学校、新宿山吹高等学校、芝浦工業大学附属高校 【愛知県】知多市立新田小学校【広島県】呉市立郷原小学校、広島市立上安小学校、広島市立山田小学校、東広島市立高屋西小学校【岡山県】岡山市立瀬戸中学校 【山口県】和木町立和木中学校、周防大島町立安下庄中学校</p>				
<p><b>特別支援学校等における公演実績</b></p>	<p>平成28年、二階堂養護学校(天理市)にて「附子」「柿山伏」の本公演と体験ワークショップを実施。 平成29年、東大寺整枝園(奈良市)にて狂言体験ワークショップを実施。 平成28年、七条養護学校(奈良市)・帯広盲学校(北海道帯広市)にて「附子」「柿山伏」の本公演と体験ワークショップを実施。</p> <p>令和2年度 文化芸術による子供育成事業～巡回公演事業～ 山梨県立やまびこ支援学校</p> <p>令和4年度 文化芸術による子供育成推進事業～巡回公演事業～ 茨城県立境特別支援学校</p> <p>令和5年度 文化芸術による子供育成推進事業～巡回公演事業～ 千葉県立松戸特別支援学校、神奈川県立麻生養護学校</p>				
<p><b>参考資料の有無</b></p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>			
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://youtu.be/OxH2AX78zig">https://youtu.be/OxH2AX78zig</a></p>			
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="927 1694 1003 1734">ID:</td> <td data-bbox="1003 1694 1427 1734"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="927 1734 1003 1768">PW:</td> <td data-bbox="1003 1734 1427 1768"></td> </tr> </table>	ID:		PW:
ID:					
PW:					

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 邦楽演奏・日本舞踊家集団 蒼天 】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	舞う 唄う 奏る 日本の伝統芸能		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>①長唄を聴いてみよう！日本舞踊を見てみよう！ 「越後獅子」</p> <p>②長唄って何だろう？ 「唄」「三味線」「囃子」って？</p> <p>③日本舞踊って何だろう？</p> <p>④誰もが知っている、あの「金の斧」が長唄・日本舞踊に大変身！</p> <p>⑤ワークショップ&amp;体験発表コーナー みんなで生演奏に乗せて踊ってみよう！「元禄花見踊」</p> <p>⑥長唄演奏『供奴』</p> <p>休憩</p> <p>⑦日本舞踊『蠅と蛙』</p> <p>⑧質問コーナー</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある 場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	<p>素踊りによる公演です。</p> <p>別添: 演目概要を参照</p>		
演目選択理由	<p>別添: 演目選択理由を参照</p>		
	<p>【内容】</p> <p>①事前ワークショップ体験発表！</p> <p>・事前に行ったワークショップで行った「元禄花見踊」を舞台上で披露する。 ※舞台上の場合は6～8人ずつ選抜。</p>		

邦楽の生演奏でお稽古した日本舞踊を披露する。

②日本舞踊を通して伝統の礼儀作法を体験しよう！

- ・着物を着た時の良い姿勢・立ち方
- ・立ち方座り方
- ・お辞儀の仕方(正座と立っての仕方)
- ・歩き方(すり足)

【ねらい】

①自己表現力を磨く  
舞踊の、舞い・踊りの要素とともに日本舞踊の、何かを想像する・役やものになりきるということを体験してもらおう。  
邦楽器での「長唄 花見踊の演奏に合わせて、春のさくらを想像し、時に花となり時に風となり、実際に身体を動かしながら日本の表現を学ぶ。  
着物を着た所作を体験して、昔の日本人の思考を考える。

②日本の伝統的な礼儀作法を身につける  
着物を着ての良い姿勢、立ち方座り方、挨拶の仕方を学び、日本に昔から伝わるそれらの動きを通して、より気持ちの伝わる礼儀作法を身につける。

**出演者**

日本舞踊家2名  
演奏家8名 合計10名

日本舞踊：藤間直三、花柳貴伊那  
唄方東音伊藤薫子、杵屋巳津二郎、東音大島 早智  
三味線方：松永忠三郎、杵屋史弥  
囃子方：山口晃太郎、藤舎夏実、藤舎雪丸、望月輝美輔

別添：プロフィール参照

<b>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 み</b>	出演者： 10 名	<b>運搬</b>	積載量： 2 t
	スタッフ： 1 名		車 長： 5 m
合 計： 11 名	台 数： 1 台		

<b>本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安</b>	<b>前日仕込み</b>	無	<b>前日仕込み所要時間</b>	0	時間程度	
	<b>到着</b>	<b>仕込み</b>	<b>上演</b>	<b>内休憩</b>	<b>撤去</b>	<b>退出</b>
	9:00	9:00～12:30	13:00～14:30	10	14:30～15:30	15時30分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

<b>本公演 実施可能日数目安</b>  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	10日	10日	0日	10日	10日	
	11月	12月	1月	計	70日	
	10日	10日	10日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

<b>児童・生徒の 参加可能人数</b>	<b>本公演</b>	共演人数目安	20名まで
		鑑賞人数目安	800名



松羽目ドロップ、演奏用山台を体育館舞台上に設置します。

公演に係るビジュアル  
イメージ  
(舞台の規模や演出が  
わかる写真)

※採択決定後、  
図面等の提出を  
お願いします。

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	100名
<p><b>ワークショップ 実施形態及び内容</b></p>	<p>① ご挨拶(5分) 指導者は紋付袴で体育館に集まった児童生徒の前に登場します。日本舞踊に関して基本的な知識と日本の文化・伝統芸能について簡単に分かり易く説明します。</p> <p>② 日本舞踊を通して伝統の礼儀作法を体験しよう！(20分) 稽古を始める前の挨拶(礼儀作法も含め)から基本姿勢、日本舞踊の表現法を解説と実演を交えて体験していただきます。 ・着物を着た時の良い姿勢・立ち方 ・立ち方座り方 ・お辞儀の仕方(正座と立っての仕方)、歩き方(すり足)など</p> <p>③ 「元禄花見踊」のお稽古(30分) 本公演で共演する「元禄花見踊」を全員で練習します。出演の代表児童生徒は複数のグループに分かれて練習します。</p> <p>④ 邦楽器紹介10分 邦楽器の仕組みや使う場面やイメージを解説し、実際にその生の音を聞いてもらう。</p> <p>⑤ 発表会と感想(20分) 練習を終えたグループごとに「元禄花見踊」を発表します。 またワークショップに参加しての感想や本公演で共演することへの意気込みなどを質問していきます。</p> <p>標準:90分</p>		
<p><b>ワークショップの ねらい</b></p>	<p><b>【文化の理解と尊重】</b> 日本舞踊を鑑賞することは、日本の伝統文化に触れ、尊重する機会となります。伝統的な芸術形式や歴史についての理解を深めることができます。</p> <p><b>【身体表現】</b> 日本舞踊は身体的な表現を重視します。舞踊家の優美な動きや表現力を通じて、身体表現の美しさを学ぶことができます。</p> <p><b>【芸術の魅力】</b> 舞踊の美しさや繊細さを鑑賞することによって、芸術の魅力を体験し、感じることができます。美的感覚を磨く手助けとなります。</p> <p><b>【芸術への感性】</b> 芸術鑑賞は感性を磨くことにつながります。日本舞踊を鑑賞することで、感受性を高め、美しいものや表現に対する感銘を受けることができます。</p> <p>蒼天のワークショップは、児童・生徒が文化への理解と感銘、身体表現の向上、歴史や物語の学習、芸術の魅力の発見などが得られるように努めます。</p>		
<p><b>その他ワークショップに 関する特記事項等</b></p>	<p>参加する児童・生徒には扇子を貸し出します。</p>		

## 本事業への申請理由

【公演団体名 邦楽演奏・日本舞踊家集団 蒼天】

本事業に対する  
取り組み姿勢、および  
効果的かつ円滑に実施  
するための工夫

## ①本事業に対する取り組み姿勢

日本舞踊を体験・鑑賞する生徒には、楽しんで日本の伝統芸能・文化に触れ合ってもらいたいと考えています。現代社会においては、日本舞踊は身近な文化ではなく敷居の高いもののように思われているかと思います。本事業を通してまずは日本舞踊の魅力と面白さを伝えたいと考えております。生徒たちとのコミュニケーションは、一方通行にならないように努めます。

本事業では、ワークショップ・本公演で日本舞踊の、「何かを想像する」、「役やものになりきる」ということを体験してもらいます。長唄「元禄花見踊」の演奏に合わせて、春のさくらを想像し、時に花となり時に風となり、実際に身体を動かしながら日本の表現を学びます。

日本文化が持つ礼儀作法や道徳を、児童生徒に育んでもらうためにワークショップ、体験コーナーに重点を置き取り組みます。世界が近くなりグローバルスタンダードとして画一的な世界が進む中で、自国の独特な文化を知ることはいくらでも社会で活躍するリーダーに求められる要素になります。私たちが住み生活するこの素晴らしい日本の文化を、胸を張って海外の人々に伝えられるような人材に育てたいと願っています。

## ②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

令和2,4,5年度の文化芸術による子供育成総合事業でのノウハウを活かし円滑な運営を実施します。専任の担当者が電話、メール等で事前ヒアリングをして実施校のご要望などを把握します。出演の主要メンバーと情報共有してワークショップ、本公演の準備をします。

## 【事前ヒアリング】

各校の担当の先生へ電話連絡。学校側の希望や公演場所の状況・設備、搬入経路、周辺の環境など確認してワークショップや本公演の準備を進めます。長唄「元禄花見踊」に出演希望の児童生徒を選抜しておいてもらいます。

## 【ワークショップ】

ワークショップでは、舞踊の、「舞い」・「踊り」の要素とともに日本の伝統的な礼儀作法を身につけて欲しいと考えています。まずは、日本舞踊の解説と実演、児童生徒へのクイズを交えた鑑賞で初めて接する日本舞踊に楽しみながら親しんでいただきます。着物を着た時の良い姿勢・立ち方・お辞儀の仕方(正座と立っての仕方)・歩き方(すり足)など体験してもらい、より気持ちの伝わる礼儀作法を身につけてもらいます。次に扇子を持って日本舞踊の基本的な所作を体験していただきます。

長唄「元禄花見踊」に出演する代表児童生徒は、指導者より足の運び方や振りなど細部にわたって稽古をし、その後いくつかのグループに分かれ各指導者が小人数で舞台上の動きやきっかけをくりかえし指導し作品を完成させ本公演での共演に臨みます。

子供たちとの共演は、彼らの創造性や行動力を引き出す素晴らしい機会です。楽しさを重視し、子供たちが表現できる環境を提供します。

本公演実施にあたり担当の先生と最終調整します。

## 【本公演】

公演プログラムを事前配布し本公演への期待感を醸成します。

講師が児童生徒の目線に合わせてながら、わかりやすく(鑑賞学年にあわせてながら)伝統文化・日本舞踊・長唄・作品(あらすじ)の解説を行います。

## 【共演コーナー】

当日は出演の代表児童生徒と長唄「元禄花見踊」の共演をします。

また舞台上では安全を最優先に考え怪我等の無いよう、スタッフが大道具や導線などへ注意を払います。また児童生徒たちにも安全に関するルールや指示を明確に伝えます。

質問コーナー、ディスカッション、感想発表会など児童生徒参加のプログラムでは、児童生徒の言葉や表現方法に適切に、コミュニケーションを円滑に行います。児童生徒が理解できるように、分かりやすく説明したり、質問に答えたりします。

## C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名 邦楽演奏・日本舞踊家集団 蒼天 】

C区分で事業を実施するに当たっての工夫	<p><b>① 離島・へき地等における公演実績</b></p> <p>平成11年から世界全70か国で公演・文化交流事業を実施。 日エクアドル外交関係樹立100周年記念レセプション(2019年)では、ガラパゴス諸島において日本人初の公演活動行った。国内外での離島・僻地での公演実績多数ございます。</p> <p>平成23年度「子どもたちのための優れた舞台芸術事業」          壱岐市立田河小学校          小値賀町立小値賀中学校          上天草市立上北小学校</p> <p>令和4年度子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業          石垣市立八島小学校</p> <p>令和5年度 文化芸術による子供育成総合事業          C区分対象校19校実施中(令和5年10月3日現在)</p>
	<p><b>② 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫</b></p> <p>離島や僻地の児童・生徒こそ一流の演奏家・舞踊家による日本の伝統芸能を体験鑑賞して欲しいと考えております。邦楽演奏・日本舞踊家集団 蒼天のメンバーは日本最高峰の芸術大学である東京藝術大学の卒業生です。一流の舞台芸術を鑑賞することが困難な児童・生徒に楽しんで体験・鑑賞してもらえる少人数の公演団による伝統芸能の公演企画です。</p> <p>本物の舞台公演を上演するにあたり生演奏の公演にはこだわりました。A区分での11名より少ない8名の編成ですが長唄演奏の素晴らしの質は保たれます。</p>
	<p><b>③ C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫</b></p> <p>紋付袴で実演することで衣裳、床山などの道具およびスタッフを減らすました。離島・僻地の場合の生徒児童数は少数であるという前提のもと、音響、照明なども最小限の機材で対応します。以上の点から、音響・照明機材、スタッフの数、車両の数、ワークショップの指導者数の点から経費削減が可能と考えます。</p>

## ①長唄を聴いてみよう！日本舞踊を見てみよう！『越後獅子』



江戸で人気があった大道芸「越後獅子」を大衆の前で披露する青年が主人公の曲。「越後獅子」の芸そのものだけではなく、故郷の越後に残してきた家族、お国名物を歌い上げ、最後は山のような人だかりの喝采の中で幕となります。芸をしながら一人旅をする風流な青年（風雅物）として描かれます。長唄 越後獅子は舞踊曲として作曲されて以来大変な人気を博し、長唄を代表する名曲として、頻繁に取り上げられています。大人気な長唄の名曲を子どもたちへお届けします。

## ②長唄って何だろう？

歌舞伎の伴奏として発展してきた音楽です。大勢の唄と軽やかでよく響く三味線に、笛や小鼓 こつづみ、太鼓など、にぎやかな 囃子 はやし を加えて、華やかに舞台を盛り上げます。幕末以降は歌舞伎から離れ、純粋に音楽として楽しむ作品も数多く誕生しました。

## 唄

一人で唄う部分と全員で唄う部分があり、声の厚みを変化させて、唄方一人一人の声の魅力や大勢の声の迫力が味わえるようになっています。

## 三味線

長唄では「細棹」と呼ばれる一番細い棹の三味線を使います。棹が細く、糸も細く、音域も一番高くなっています。

しっとりとした情緒ある音色から華やかな早弾き、迫力がある奏法など、情景や登場人物の気持ちを奏でます。

## 囃子

日本舞踊や長唄の演奏を太鼓、大鼓、小鼓、笛によって賑やかに盛り上げます。

また、効果音として雨や風などの自然の音や情景、登場人物の気持ちを表現します。



## 演目概要

リンク先

No.2

【公演団体名 邦楽演奏・日本舞踊家集団 蒼天 】

## 演目概要

## ③日本舞踊って何だろう？



踊りと舞としぐさ、これらの三つの要素を持つのが日本舞踊です。踊りは拍子にのるリズム的な要素が強く、舞はやわらかく、表現を内にこめることが基本となっています。

日本舞踊は歌舞伎から独立し、多くの人を魅了し、伝統芸能の一大潮流を築きました。

時を経て道を究め、芸術の域まで洗練された伝統芸能の真髄です。

## ④『金の斧』



誰もが知っている「金の斧」が長唄・日本舞踊に大変身！

長唄と日本舞踊を知っていただいた上で、実際にどのように演奏したり、踊るのかを観ていただきます。

まずはみんなが知っているお話を長唄・日本舞踊にすることで、より理解しやすく、伝わります。

どのような変身を遂げるのでしょうか！

## ⑤ワークショップ体験発表コーナー

ワークショップでお稽古した日本舞踊。

代表者一丸となって、楽しみながら舞台上で舞います。礼にはじまり礼に終わる、日本の礼儀作法も体に染み付いています！

発表後には代表生徒の皆さんに感想を伺います。

リンク先

No.2

【公演団体名 邦楽演奏・日本舞踊家集団 蒼天 】

### ⑥長唄演奏『供奴』



長唄の伝統ある古典の名曲をメドレーにし、長唄の魅力を伝えます。  
唄・三味線・囃子の音色が織りなす長唄！  
情緒ある曲から迫力がある曲まで、お届けします。

### ⑦日本舞踊『蠍と蛙』

長唄・日本舞踊で華やかに楽しく  
かっちりと表現します。  
川の向こう岸に渡ろうとするサソリが、毒針を刺さないと約束してカエルの背に乗せてもらうが、本能・性さが)に逆らえず川の途中で刺してしまう。そしてカエルと共に、サソリも溺れる。  
目で見て、耳で聴き、体全身で感じとっていただける演目です。



演目概要

リンク先	No.2	【公演団体名 邦楽演奏・日本舞踊家集団 蒼天 】
<b>演目選択理由</b>	<p>Q. なぜ『越後獅子』『供奴』『蠍と蛙』なのか？ A. 知ってもらいたい！伝えたい！感じてもらいたい！ 日本の伝統文化と長唄・日本舞踊をお伝えできる演目だからです。</p> <p>三つのコンセプトを大切にします ①長唄・日本舞踊の魅力の凝縮 ②内容のわかりやすさ ③親しみやすさ</p> <p>『越後獅子』 【日本舞踊 長唄 越後獅子】 江戸で人気があった大道芸「越後獅子」を大衆の前で披露する青年が主人公の曲。 「越後獅子」の芸そのものだけではなく、故郷の越後に残してきた家族、お国名物を歌い上げ、最後は山のような人だかりの喝采の中で幕となります。 芸をしながら一人旅をする風流な青年(風雅物)として描かれます。 長唄 越後獅子は舞踊曲として作曲されて以来大変な人気を博し、長唄を代表する名曲として、頻繁に取り上げられています。大人気な長唄の名曲を子どもたちへお届けします。</p> <p>『長唄 供奴』 供奴とは、お供をする武家の奉公人。 長唄 供奴は少しおっちょこちょいだけご主人が大好きなの「奴(奉公人)」の様子を描いた作品です。 三味線と囃子の鮮やかな掛け合いや、軽快な運びの中に何かユニークなものを感じる曲調で、長唄の楽しさを伝えます。</p> <p>『蠍と蛙』 わかりやすいストーリーとメッセージ性。 子どもから大人まで、難しく考えずに観れる作品。演奏・舞踊、共に多様な技法が詰まっており、様々な視点から楽しめます。 歌詞は現代にわかりやすくなしながらも、古典の要素をふんだんに盛り込んだ作品です。 流行病で住処を追われ、疫病の無い楽園を目指して旅に出た蠍は、川のとりに泳げずに立ち往生。そこへ旅人の蛙がやってきて、、、 (※コロナ禍で活動の場が失われても芸能をせずにはいられない私たち蒼天の思いを、蠍と蛙に重ね合わせた作品です。)</p>	

リンク先

No.2

【公演団体名 邦楽演奏・日本舞踊家集団 蒼天】

## プロフィール



## 長唄 伊藤 薫子

3歳の時に三越劇場にて初舞台を踏む。  
平成26年東京藝術大学邦楽科卒、平成29年同大学院修士課程修了。  
一般社団法人長唄東音会所属。  
一般社団法人長唄協会会員。



## 長唄 杵屋 巳津二郎

平成6年東京都千代田区出身。  
平成10年東音石川寛要子師に長唄、長唄三味線の手ほどきを受け、現在まで師事。平成24年より杵屋巳津也師に長唄を師事。  
平成29年杵巳流7代目家元杵屋浄貞師より杵屋巳津二郎の名を許される。  
平成30年長唄東音会同人となる。  
現在、全国各地での演奏会、松竹大歌舞伎公演、日本舞踊会、NHK放送、平成中村座スペイン公演をはじめ海外公演、ラフォルジュルネ東京などの洋楽コンサートにも多数出演。  
東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。



## 長唄 東音大島 早智

邦楽囃子方、田中長十郎の次女として生まれる。  
平成31年に東京芸術大学音楽学部邦楽科を卒業。在学中に東音会賞受賞。長唄女子東音会同人、長唄協会会員。



## 長唄三味線 松永 忠三郎

平成2年生まれ東京都出身  
幼少の頃より長唄三味線を父 松永忠五郎に手ほどきを受ける。同時期に長唄を故今藤綾子に師事  
現在は三味線を松永忠一郎、杵屋勝三郎に師事  
平成19年より松永直矢として活動  
平成29年9月、四代目松永忠三郎襲名



## 長唄三味線 杵屋 史弥

1991年東京・目黒に生まれる。  
父は俳優の東千代之介、叔父は七世杵屋彌三郎。  
7才より故東音田島佳子師に長唄三味線の手ほどきをうける。  
その後、東音岩田喜美子師・東音秀島いづみ師・東音宮田由多加師に長唄三味線を師事。  
14才より東音西垣和彦師に長唄を師事。



## 邦楽囃子方 藤舎 夏実

1991年福岡生まれ  
藤舎呂英、藤舎千穂に師事。  
2012年3月有明教育芸術短期大学卒業  
2014年3月 東京藝術大学音楽学部邦楽科邦楽囃子専攻別科修了  
いしかわ子ども邦楽アンサンブル講師  
藤舎流 真しほ会、青澗会 同人

リンク先	No.2	【公演団体名 邦楽演奏・日本舞踊家集団 蒼天】
プロフィール		<p><b>邦楽囃子方 望月左太晃郎</b></p> <p>1992年東京生まれ。9歳より囃子方 望月左太郎に師事。  2011年 東京芸術大学音楽学部邦楽科入学 2015年同学卒業  学部在学中に安宅賞、アカンサス音楽賞、同声会賞を受賞。市川市新人演奏家コンクールにて優秀賞を受賞。  2014年 望月左太晃郎(さたみつろう)の名を許され、長唄演奏会・日本舞踊会などで活動。  2015年4月東京芸術大学大学院音楽研究科修士過程入学 2018年同学修了  NHK教育テレビ『にっぽんの芸能』NHK大河ドラマ『麒麟がくる』等メディアでも活動中。</p>
		<p><b>邦楽囃子方 藤舎雪丸</b></p> <p>栃木県出身。  令和2年東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業。囃子を二世藤舎呂雪、三味線を柗屋三澄那の各師に師事。  平成30年六世家元 藤舎呂船師より藤舎雪丸の名を許される。  第32回市川市新人演奏家コンクールにて「優秀賞」受賞  真しほ会、青湊会、長唄協会会員。</p>
		<p><b>邦楽囃子笛方 望月輝美輔</b></p> <p>11歳より笛を望月美沙輔に師事。長唄三味線を柗屋三澄那に師事。社団法人 長唄協会会員。  平成27年度 青山財団奨学生。  平成29年度 市川市文化振興財団新人演奏家コンクールにて優秀賞を受賞。  平成30年皇居内桃華楽堂に於いて、御前演奏の栄誉を賜る。  東京芸術大学音楽学部邦楽科に在学中、浄観賞・安宅賞・アカンサス音楽賞を受賞。  歌手・女優の大原櫻子とコラボレーション曲『花光る』作曲・演奏。  古典芸能を継承しながらも、ポピュラー音楽の演奏にも力を注ぐ。</p>
		<p><b>日本舞踊家 藤間直三</b></p> <p>1992年東京都出身。6歳の6月6日より故藤間秀三に師事。現在、藤間秀之助に師事。  2013年、東京芸術大学音楽学部邦楽科日本舞踊専攻卒業。  東京新聞全国舞踊コンクール邦舞第1部1位、文部科学大臣賞受賞。  公益社団法人日本舞踊協会主催の新春舞踊大会で大会賞、会長賞など受賞。  その他、多数舞台出演、振付、演出。  NHK「にっぽんの芸能」などのテレビ番組も多数出演。</p>
		<p><b>日本舞踊家 花柳 貴伊那</b></p> <p>6歳より日本舞踊を花柳貴答師に師事。  2008年坂東玉三郎特別舞踊公演「競獅子」胡蝶の精役、2010年新春花形歌舞伎・市川海老蔵による「春興競獅子」同役を勤める。  2013年に花柳貴伊那の名を許される。  2020年東京芸術大学音楽学部邦楽科日本舞踊専攻を卒業。  平成30年度青山音楽財団奨学生。学内にて安宅賞、同声会新人賞、アカンサス音楽賞を受賞。  現在同大学院音楽研究科修士課程に在籍中。</p>